

2月は「逃げる2月」。小学校では学習発表会、中学校では3年生を送る会などの準備をする時期でもあり、あっという間に過ぎ去っていくのが3学期です。こうした行事を進める中で、自分たちの学級がどのように成長したのかを認め合う場をつくることで、子どもたちは学級への信頼感や学級のまとまりを実感していくはず。短い3学期、学級全体で取り組む残り少ない日々を大切にしたいものです。



<小学校>

短学活で「30秒スピーチ“ここまでとこれから”に取り組んでみませんか

今年度に伸びたことや来年度に伸ばしたいこと等を児童一人一人が発表する時間を設けて、友の成長を学級全員で認め合う雰囲気をつくりませんか。

- 「30秒話すには、原稿として200字くらい」等、目安を伝え、作文の準備をやすくします。
- 教室のカレンダー等に各自の発表日を記載し、計画的な準備を支援します。
- 発表した後には、感想や応援メッセージを伝えたり、付箋に感想を書いて発表者に渡したりします。
- 原稿の提出や発表場面の録画、撮影により、年度末にそれらをまとめて、「成長の記録」としてプレゼントできます。



みんなが活躍する学習発表会

1年間のまとめとして、学習発表会などを計画している頃ではないでしょうか。みんなが活躍するために次の点を工夫してみましょう。

- ◇誰もが知っているお話を基本に、児童の発想を大切にして、学級の楽しい思い出を盛り込んだストーリーを作り、「演劇」「寸劇」等全員が役割をもって取り組めるようにしてはどうでしょうか。
 - ◇発表内容は、自分が最も得意なこと、保護者や学級の仲間に伝えたいこと等を大切にして、「やりたいことを、やりたい方法で」行えるように児童の願いを大切にしましょう。
 - ◇プログラムやポスターづくり、教室の飾り付けなどの一人一人が活躍できる役割を決めておくことも大切です。
- ※伝える相手と発表する目的を明確にして、楽しい学習発表会にしていきましょう。

<中学校>

残りわずかな短学活の工夫

中学3年生の3学期、受験への緊張感と同時に、卒業する寂しが高まる時期です。短学活で行われることの多い1分間スピーチのテーマで、「今だから言える『ありがとう』『ごめんなさい』」はどうでしょう。きっと、教室が温かな雰囲気がいっぱいになることでしょう。

部活の試合で負けたとき、つい、○○さんを責めてしまいました。あの時は言えなかったけど、本当に悪かったと思っています。ごめんなさい。



(A君)

担任は、例えば「真に勇氣ある行動は自分の非を認めることです。A君、この「勇氣」を忘れずにね。本当は、その時に言ってあげられるといいよね」こんな言葉を伝えたらどうでしょう。発表した生徒の気持ちを受け止め、そのよさを学級で共有したいですね。

集会活動への参加

「生徒総会」や「3年生を送る会」、「卒業式練習」など、みんなで体育館に集まることの多いこれからの時期。普段と違う日課への適応や集団参加が難しいA生への支援はどうしたらよいでしょう。

◇A生が見通しをもてるように

- ・日報等を拡大コピーして教室内に掲示したり、絵や図、写真などを取り入れたりして、視覚的な情報を有効に利用しましょう。
- ・急な変更があったときは、日程を見え消しにして表示しましょう。
- ・いつ、どこで、どのように参加するのかを、あらかじめ伝え、どこまでなら参加できるかを確認しておくことも大切です。

◇A生の情報の共有

- ・個別の支援内容とその意味については、集会に参加する全教師に事前に周知し、A生の実態や配慮点を共通理解しておきましょう。